

園児の交通事故

Risk management Manual

事前準備

園外保育に出かけるときは！

- 必ず行き先と園児の人数と職員の氏名を、連絡網に記入しておきましょう。
- 事前に目的までの経路を把握するとともに**当日の工事や交通量の変化も考慮して経路を検討しましょう。**交通量の多い場所やガードレールの無い危険個所を避けていきましょう。**危険個所を職員全員と保護者も含めて共通認識するとともに、警察署に事故の発生場所等を確認して経路を検討しましょう。**
- 必ず携帯電話、防犯ブザー、飲料水及び持ち運び可能な救急セットを用意していきましょう。**保育者や子どもも、ドライバーにアピールする目立つ服装（安全ベスト）等工夫しましょう。**

*園外保育の項目を参照して下さい。

Preparation

119番との連携確認！

- 救急訓練を事前に受けておくことはもとより、119番通報も練習しておきましょう。
- 何を聞かれてもパニックにならないよう事前に話す訓練をしておきましょう。

交差点や駐車場出入口では！

車同士の交通事故により、車が突っ込む可能性を常に考えて、信号待ちや横断待ちの待機場所、横断時の手旗やLEDの誘導棒等の活用など、ドライバーの注意喚起を促す工夫が必要です。駐車場付近では、前進後進の操作ミスやアクセルブレーキの踏み間違えが起きやすいので、フェンス等で区切られていても、駐車場付近での待機や保育はやめましょう。自園の屋上駐車場から落下した保護者の車で下敷きになった園児が死亡した事例もあります。

園でのルール確認を！

園児が事故にあった時、慌ててしまい、園内との連絡が混乱しないように、日頃から職員会議等で話合ってルールをつくっておきましょう。

- 例えば、119番に連絡する人は、園と保護者に連絡する人は、病院についていく人は、記録をとる人は、など。

昨今、園児の事故に関して社会が注目しているため、記者会見を開かないとマスコミ等、個別に対応しきれない場合が多いと思われます。状況の迅速正確な把握と外部との窓口を一本化することが必要です。これも事前に訓練が必要です。

応急処置

事故にあったときは！

まず、負傷者（園児、職員）の救護をしてから119番に連絡しましょう。**ただそれで通報が遅れると意味がないといえます。**引率者の人数が足りれば、119番に連絡する人、負傷者の手当をする人とに分かれて、同時に進めた方が良いでしょう。

負傷した場合、脱水症状になることがあるので、水分補給をしてあげると良い。

Emergency

救急処置は119番の指示に従うこと

救急隊の指示に従い、**胸骨圧迫（心臓マッサージ）**等の処置を行い、その時刻や処置の内容、園児の反応等を記録しましょう。

胸骨圧迫（心臓マッサージ）が必要な場合は、救急隊が来る前から胸骨圧迫と人工呼吸をはじめ、ひたすら繰り返しながら救急隊を待ちます。

目撃者の確保

事故の場合目撃者の証言が必要になる場合があるので、氏名・住所・連絡先等を聞いておきます。（できれば複数の方）

事後対応

保護者への謝罪は早いに！

園や職員にとっても、園側に落ち度がなくても、保護者の心情を察するとともに謝罪は迅速にしましょう。**重大事故の場合、通常は保護者説明会が先で、その後記者会見という説明責任が現在は求められます。**

Strategy

保護者への説明は迅速に！

事故にあったときは、慌てています。そういうときのためにも、事故の状況などを文章にまとめたものや事故現場の位置関係をかいた図などを、書き留めておく相手にもわかりやすく丁寧な説明ができます。

記録は正確に！

事故時の記録は正確に記載し、園で用紙を作成し、書き留めやすいようにしておきましょう。

記録のポイントは

1. 主語を書く。
2. 感想を書かない。
3. 事実だけを正確に書く。

園内への導入ポイント

- ①散歩の道順図は、事前に作成しておくこと。
- ②事故への対応は事前に練習しておくこと。
 - ・119番通報
 - ・心臓マッサージなど
- ③事故時への対応は統一基準
 - ・記録は個人差がでないように記録用紙を作成する。
 - ・保護者への説明方法、苦情の受付や処理方法なども園内で決めておく。
 - ◇事故当時の状況
 - ◇園児の被害の状況
 - ◇職員の被害の状況

など。
- ④事故にあった子どもだけでなくまわりにいた子どもたちにPTSDなど心情、精神的なケアを心がけること。
- ⑤園バス、園内駐車場等がある場合は保護者の登降園の事故など園の現状に遭わせた安全対策やマニュアルを作成すること。

園児を交通事故から守るために

交通事故報告書

発生日時	年 月 日(曜日) 時 分頃 天候 ()			
発生場所				
当事者(園側)	氏名	年齢	才(組)	
相手側	氏名	住所	連絡先 TEL	
	車名	登録番号		
届出警察署	警察署			
事故受付番号	* 京都ではないが、他府県などで番号が出れば記入すること。			
目撃者	氏名		氏名	
	電話		電話	
	住所		住所	
	備考		備考	
	氏名		氏名	
	電話		電話	
	住所		住所	
	備考		備考	
状況				
経過 (交渉担当者)				

交通事故報告書 <記入例>

発生日時	H20 R1 年 8 月 1 日(木曜日) 10 時 30 分頃 天候(晴)		
発生場所	3丁目交差点		
当事者(園側)	氏名 連盟 たかし	年齢 4 才(うさぎ組)	
相手側	氏名 京都 太朗	住所 京都市〇区△△町20番地	
		連絡先 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇	
届出警察署	京都中央		警察署
事故受付番号	* 京都ではないが、他府県などで番号が出れば記入すること。		
目撃者	氏名	安田 みらい	氏名
	電話		電話
	住所		住所
	備考	園の保育士	備考
	氏名		氏名
	電話		電話
	住所		住所
	備考		備考
状況	<p>例) お散歩中にたかし君が青信号で横断していたところ、右折してきた車にはねられた。</p>		
経過 (交渉担当者)	○×保険 山田氏		